

# 健康被害 不安の候補地

中距離地对空ミサイルレーダーを使った電波調査について説明する陸上自衛隊員＝秋田市の新屋演習場で



## イージス・アショア

### 防衛省5億円超かけ現地調査

税を追う

地上配備型弾道ミサイル防衛システム「イージス・アショア」を巡り、防衛省が配備候補地の新屋演習場（秋田市）とむつみ演習場（山口県秋市、阿武町）で、レーダーの電波影響などを調べる現地調査をしている。今月末まで行う調査には計五億円以上を投入。四月以降に調査結果を地元で説明する予定だが、強力なレーダー波による健康被害などに住民の懸念は強い。導入の総費用もさらに膨れる可能性があるが、「配備ありき」の姿勢が際立っている。（原昌志、藤川大樹）

### 秋田 周囲に住宅街、学校

イージス・アショアについては、導入費の全体像が見えないまま。政府は昨年、レーダーに米ロッキード・マーチン社製のSSRの採用を決定。二〇一九年度予算案に二基の取得費など千七百五十七億円を計上するが、建屋建設や発射装置の費用などは含まれない。

### 巨額の導入費 全体像見えず

さらに今月、試験のための試験施設建設費を日本が負担する可能性が浮上。米ハワイには、別のイージスシステムのレーダー「SPY-6」（米レイセオン社製）の試験施設があり、関係者によると、建設費用は約五百億円かかった。

今月一日、秋田・新屋演習場。陸上自衛隊の中距離地对空ミサイル（中SAM）のレーダーが持ち込ま

れ、レーダー波の影響範囲をみる実測調査が、報道陣に公開された。レーダー波を斜め上空に向けて照射した際、地上にはどの程度の電波が届くのかを確認。レーダーから約四百メートル離れた地点の「電力束密度」という電波の強さを測定した。数値は、事前に机上計算で想定した値の約二十分の一にあたる「〇・〇〇〇一」（一平方メートルあたり）。



直接証明する根拠にはならず、今後、アショアの机上計算値を示す際に、実測値はさらに小さくなることを説明するため「担当者」のものではない。

が、それでも実施したのは地元配慮の姿勢を見せるため。市などから「机上計算だけでは不安」との声が上がり、それに応じた形だ。だが、新屋演習場付近は住宅街が広がり、演習場から約三百メートルには高校がある。周辺町内会でする新屋演習場地区振興会は「配備撤回」を要請。山口・むつみ演習場に接する阿武町も「配備反対」を明確にする。